

## 令和７年度九州農政局国営事業再評価技術検討会【第１回】 玉名横島地区 指摘事項

日時：令和７年７月８日 14:00～15:15

場所：玉名市横島町公民館

| 委員名   | 指 摘                                                                  | 回 答                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-------|----------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 磯田 委員 | 資料５-１ P3 資料５-３ P30<br>「農業算出額」は、「農業産出額」に修正すること。                       | 資料４-１ P3 の４(２)、資料４-３ P30 の(２)を修正しました。                                                                                                                                                                                                                          |
|       | 資料５-３ P6<br>住民の生命・財産をとの記載があるが、背後地の住宅等については、効果に反映しているか。               | 資料４-１ P1、資料４-３ P6<br>越波浸水エリアの大半が農地であり、この農地を高潮による浸水被害から守る効果額を算出したところ、費用便益比が１を超える６となりました。このため、宅地・家財・事業所の浸水にかかる防護効果は、計上していませんでした。<br>一方で、越波浸水エリア内には住宅もあり、本事業を実施することにより、住民の生命・財産を防護する効果はあるものの、効果額は計上していないことから、資料４-１、資料４-３の事業の概要においては、「地域住民の生命・財産」を「等」と表記させていただきます。 |
|       | センサスの「農産物販売金額規模別経営体」統計も加味して、資料を作成していただいているので、その内容について説明資料等に挿入いただきたい。 | 資料４-１ P2 の３(４)、P3 の４(３)、P6、資料４-３ P23、P30 の(３)に追加しました。                                                                                                                                                                                                          |
| 凌 委員  | 資料５-３ P29<br>焼きドーナツとあるが、玉名市の小麦で生産しているのか。                             | 資料４-３ P29<br>確認した結果、使用している小麦は九州産であり、玉名市で収穫された小麦であるか確認できなかったため、文言は削除しました。                                                                                                                                                                                       |
|       | 資料５-３ P30<br>まとめについては、熊本県の評価は必要ないのではないか。                             | 資料４-１ P3 の４(２)、資料４-３ P30 の(２)<br>まとめについては、本事業地区である玉名市の内容に修正し、熊本県の評価は削除します。あわせて、資料４-１ P3 の４(２)の記載も削除しました。                                                                                                                                                       |
|       | 磯田委員の指摘内容について、資料５-４ 基礎資料で整理を行っているとのことであるが、説明資料にも挿入しないのか。             | 資料４-１ P2 の３(４)、P3 の４(３)、P6、資料４-３ P23、P30 の(３)に追加しました。                                                                                                                                                                                                          |

令和7年度九州農政局国営事業再評価技術検討会【第1回】 玉名横島地区 指摘事項

| 委員名   | 指 摘                                                                                                        | 回 答                                                                                                                                                                                                                              |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 弓削 委員 | 資料 5-1 P5<br>環境保全の考慮について、考慮と配慮と記載が入り混じっており、使い分けについては、どうなっているのか。<br>また、景観は、環境・利用の考慮とは、別物と考えられるので、整理をお願いしたい。 | 資料4-1 P5、資料4-3 P41～45、資料4-4 P120<br>検討した結果、海岸法の目的を踏まえ「考慮」が適切であることから、「考慮」に統一しました。なお、項目も再度整理しました。                                                                                                                                  |
|       | 資料 5-3 P31<br>「飛沫被害を防止するため」との記載があるが、効果の算定の中では飛沫の被害については、算定されていないとのことである。<br>本事業との整合が図れていないのではないのか。         | 有明海沿岸海岸保全基本計画に、玉名横島地区も位置付けがなされており、「整備の方向」として、「高潮による背後地への越波・飛沫被害を防止するため、堤防等の整備を行い、必要な防護機能を確認する。整備に当たっては、環境、利用と調和のとれた海岸整備を目指す。」とあります。<br>関係者への聞き取りの結果、飛沫被害の範囲は日堤防より内側に収まっており、浸水被害の範囲の内側であることを確認しています。このことから、本事業との整合は図れていると判断しています。 |
| 原田 委員 | 効果算定に当たり、設計する際の設計外力が不明なため、『伊勢湾台風を想定し算定している』旨を記載されたい。                                                       | 資料4-3 P33<br>設計外力の設定に「(伊勢湾台風を想定)」と追記しました。                                                                                                                                                                                        |
|       | 水産業にも配慮された事項についても記載されたい。                                                                                   | 資料4-1 P5の(4)、資料4-3 P45<br>以下を追記しました。<br>① ノリの養殖時期に考慮した工事工程計画<br>工事区域周辺は、ノリ養殖が盛んなため、海側の工事及びコンクリート打設や地盤改良工事は、ノリ養殖期間(9月～3月)以外の4月から8月までとしている。                                                                                        |
|       | 事業目的の1つとして、沈下による堤防高の不足に伴う堤防嵩上げ等の整備があるが、土質の専門的な検討は行われているのか。                                                 | 資料4-3 P11<br>堤防の補強・改修に当たっては、沈下による将来の堤防高を考慮した整備計画について、学識経験者で構成される九州農政局直轄海岸保全施設検討委員会に諮り工事を実施していることから、その旨を追記しました。                                                                                                                   |